

2012年4月から2022年1月までにクロザピンを初回導入および維持した状態で退院した 15-64歳の治療抵抗性統合失調症患者様の方へ

「クロザピン維持治療における1日単回投与と分割投与が再発に与える影響： 後方視的観察研究」へのご協力をお願い

研究機関名 岡山県精神科医療センター

研究機関長 来住 由樹

研究責任者 岡山県精神科医療センター 医師 塚原 優

研究分担者 岡山県精神科医療センター 医師 北川 航平

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

クロザピンは治療抵抗性統合失調症に対して有効な薬剤ですが、血中半減期が24時間未満と比較的短いため、一般に1日に分割して投与することが推奨されています。しかし、クロザピンの分割投与が単回投与よりも有効であることを示す十分な報告はまだありません。特に、クロザピンの投与回数と再発との関係を調査した研究はまだありません。そこで、我々はクロザピン維持治療における1日単回投与と分割投与が再発に与える影響を調査したいと考えています。研究方法としては、2012年4月から2022年1月までにクロザピンを初回導入および維持した状態で退院した15-64歳（退院時の年齢）の治療抵抗性統合失調症患者の診療録を調べ、退院後1年間における再発に対するクロザピン単回投与と分割投与の影響を統計的手法により比較検討します。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

クロザピン維持治療における再発に対するクロザピン単回投与と分割投与の影響を妥当性が高い方法で検証することができます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2012年4月から2022年1月までにクロザピンを初回導入および維持した状態で退院した15-64歳（退院時の年齢）の治療抵抗性統合失調症患者様の約150-200名を研究対象とします。

2) 研究期間

2023年9月開催の倫理委員会承認後～2025年3月31日

3) 研究方法

研究方法としては、2012年4月から2022年1月の診療録を調べ、クロザピン維持治療における再発に対するクロザピン単回投与と分割投与の影響を統計手法により調査します。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。使用する情報は、年齢、性別、肥満度を表す体格指

数、疾患の重症度、機能の程度、罹病期間、喫煙状況、退院時の処方内容、再発の内容等です。

5) 外部への情報の提供

その予定はありません。

6) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山県精神科医療センターで保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、当院のホームページおよび掲示板にポスターを掲示してお知らせします。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、**2023年10月14日までの間に**下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山県精神科医療センター

氏名：塚原 優

電話：086-225-3821（平日：8時30分～17時15分）

ファックス：086-234-2639